

○中島修、陶山秀夫（国立熱海病院）、袁世華（長春中医学院）、中村一雄（HD なかむら）、新川重次（新川薬品）、池川哲郎（金沢大学・生命科学）

【目的】今日、我が国の糖尿病患者は700万人とも800万人ともいわれ、血糖コントロールの不良な患者は、発病後10年以内に糖尿病性網膜症を合併するといわれている。また、OA機器の普及による眼精疲労、アレルギー性結膜炎等、眼の疾患は増加している。そこで、日誠マリン工業KKが開発した新しい健康食品、ニューアイリタン（NER）の臨床成績について報告する。

【方法】対象とした疾患は、糖尿病性網膜症32例、高血圧症5例、アレルギー性結膜炎7例、眼精疲労12例、緑内障2例の合計58例である。これらの症例にNERを1日6～12錠内服せしめ、臨床症状、視力および眼底所見の変化を定期的に観察した。

【成績】ほぼ全症例において、臨床症状、視力および眼底所見のいずれかにおいて改善を認めた。糖尿病性網膜症のうち、網膜剥離を伴うような症例では視力の改善はないか、または僅かであった。しかし、その他の症例では、眼底所見の改善が認められた。高血圧症々例においても眼底所見は進行しなかった。アレルギー性結膜炎症例では、季節との関係もあり長期投与の効果は判定が困難であったが、2例においては、投与2週間後に改善傾向を示した。眼精疲労については視力の回復の他、OA機器の画面のちらつき、読み取り難さ、眼球結膜の充血などが改善した他、頭痛などの症状も改善された。緑内障においては、眼圧の低下とともに視力の回復も認められた。

【結論】漢方療法では、“以臓補臓”の治療が多いが、鯉胆、八ツ目鰻等を含むNERは眼疾患の治療に有用と考えられた。